

サマーセミナー2011報告

中村 明生¹⁾, 清水 毅²⁾, 渡邊 修³⁾

1) 東京電機大学 2) 山梨大学 3) 拓殖大学

2011年度のサマーセミナーは、8月29日～30日の2日間、長野県諏訪市の上諏訪温泉「かたから 諏訪湖ホテル」において開催された。学生の発表は若葉研究会29件、チュートリアルセッションでは講師の先生2名に特別講演をお願いした。参加者数は企業8名、大学教員24名、学生44名の合計76名であった。以下、セミナーの概要について述べる。

1. はじめに

第20回目となる今回のサマーセミナーは、長野県諏訪市「かたから 諏訪湖ホテル」において8月29日から30日の2日間にわたり合宿形式で開催された。映像情報メディア学会メディア工学研究会との共催は、2004年以来、今回で8回目となる。

サマーセミナーの主目的は、学生や企業の若手研究者など若葉研究者に研究発表の場を提供すること、若葉研究者と研究指導者（企業研究者や大学教員）との交流の場を与えること、両学会の研究室や研究者同士の交流を図ること、である。

2. 開催準備と実施形態

2010年10月から企画を開始し、両学会で検討を重ねた。共催となってからは両組織が交代で主担当となっており、今回は画像応用技術専門委員会が中心となった。以下に示す企画委員会を設置し、中村明生企画委員長のもと、清水毅幹事（画像応用技術専門委員会）、渡邊修幹事（メディア工学研究会）が中心となって準備を行った。

サマーセミナー2011 企画委員会（敬称略）

画像応用技術専門委員会側

- ・ 中村 明生（東京電機大学、企画委員長）
- ・ 清水 毅（山梨大学、幹事）
- ・ 棚澤 信（旭硝子）
- ・ 渋谷 久恵（日立製作所）
- ・ 中島 慶人（電力中央研究所）
- ・ 藤原 孝幸（中京大学）
- ・ 堀田 政二（東京農工大学）

メディア工学研究会側

- ・ 渡邊 修（拓殖大学、幹事）
- ・ 青木 義満（慶應義塾大学）
- ・ 伊藤 康一（東北大学）
- ・ 村松 正吾（新潟大学）

若葉研究会での優秀な発表者に贈られる優秀発表賞については、13名で構成される優秀発表賞審査委員会を設置して審査を行った。例年と同様、審査委員会のメンバ全員がすべての発表を聴講することで公正かつ平等な審査を行った。

優秀発表賞審査委員会（敬称略）

代表委員会

- ・ 中村 明生（東京電機大学、企画委員長）
- ・ 輿水 大和（中京大学、画像応用技術専門委員会委員長）
- ・ 梅田 和昇（中央大学、画像応用技術専門委員会副委員長）
- ・ 吉田 俊之（福井大学、メディア工学研究会委員長）
- ・ 村上 和人（愛知県立大学、メディア工学研究会副委員長）
- ・ 渡邊 修（拓殖大学、幹事(書記)）

審査委員（50音順）

- ・ 奥平 雅士（東京都市大学）
- ・ 上倉 一人（NTTサイバースペース研究所）
- ・ 久野 義徳（埼玉大学）
- ・ 棚澤 信（旭硝子）
- ・ 渋谷 久恵（日立製作所）
- ・ 中島 慶人（電力中央研究所）
- ・ 山本 和彦（岐阜大学 名誉教授）

3. サマーセミナー報告

3.1 参加者数と開催状況

参加者数は、企業8名、大学教員24名、学生44名の合計76名（男性71名、女性5名）であり、過去最多の参加者数であった。御協力頂いた関係各位に感謝申し上げたい。

会場は和風旅館の中の大宴会場「フヨウ」であり、リラックスした雰囲気で行進していった。

3.2 チュートリアルセッション

今年度は「実世界を高速に・正確に知覚せよ！最先端ビジョン技術」というテーマのもと、2名の講師の方に特別講演をお願いした。

初日には、小室孝氏（埼玉大学）に「高速画像センシングとその応用」という題目で、画像高速センシングのもたらすメリットを示すとともに、それを実現するシステムとその応用例についてご講演いただいた。

2日目には、徐剛氏（立命館大学、三次元メディア代表取締役）に「産業ロボットのための3次元

ビジョン — 技術とビジネス —」と題して、3次元ビジョン技術について研究とビジネスの2つの観点から述べていただいた。3次元ビジョンの実用化に関し、歴史的経過・研究者のビジネス参加・産業ロボットへの利用・課題等についてご講演いただいた。

いずれのご講演も、「実世界を高速に・正確に知覚する技術」への指針を示して頂けるものであった。お忙しい中ご講演いただいたお二人にはこの場を借りて心より感謝申し上げる。なお、座長はそれぞれ、青木義満氏（慶應義塾大学）、橋本学氏（中京大学）にお願いした。

3.3 若葉研究会

学生発表は若葉研究会29件であり、正味1日という発表時間を考えれば適切な発表件数であった。座長は、寺林賢司氏（中央大学）、子安大士氏（埼玉大学）、山下淳氏（静岡大学）、伊藤康一氏（東北大学）、清水毅氏（山梨大学）にお願いした。

異なる2つの学会の共催である本セミナーの特徴として、普段とは違った視点からの質問・コメントが多く、発表者・聴衆ともに良い刺激を受け、参加者全員が充実感を持って終了した。ただ、学生諸君にももう少し積極的に質問・議論への参加をしてもらいたかった。限られた時間の中、円滑なセッション進行をして頂いた座長各位には感謝したい。

最終日には優秀発表賞の発表が行われ、以下の2名の受賞者に賞状と今回から用意されたカップが贈呈された（図1）。このカップは持ち回りで、次回サマーセミナーまで受賞者の研究室に飾られることになる。研究の励みになることが期待される。

優秀発表賞受賞者（発表順、敬称略）

石井 純平（東北大学）

斎藤 正孝（中京大学）



図1 優秀発表賞受賞者（左：斎藤氏、右：石井氏）と中村企画委員長（写真中央）

3.4 懇親会

広々とした温泉に入った後、大宴会場「フヨウ」にて夕食をとった。その後、スナック「六角堂際会」にて懇親会を行った。発表者を除く参加者全員が簡単な自己紹介を行い、親密な雰囲気の中で、世代を超えたタテの交流、同世代のヨコの交流が行われた。幹事団の用意したもの他、参加者の手土産により、潤沢な飲み物・つまみを楽しんだ。途中からは大学対抗のカラオケ大会も始まり、大いに盛り上がった。その後、客室にて有志参加の2次会が行われ、ある部屋では4時頃まで教員・企業人・学生の枠を超えた歓談が行われた。

4. おわりに

今年度のサマーセミナーも、楽しい雰囲気のうちは無事終了した（図2）。サマーセミナー2011の準備にあたりお世話になった皆様には、紙面を拝借して感謝の意を表したい。特に、会場設営・運営補助にあたった東京電機大学および山梨大学の学生アルバイト各位、料金設定や会場準備その他でご配慮いただいた「かたくら 諏訪湖ホテル」の皆様には心より御礼申し上げます。

今回のサマーセミナーは、メディア工学研究会が中心となって開催する。渡邊修企画委員長（拓殖大学）を中心に企画を行い、2012年夏に開催する予定である。



図2 サマーセミナー2011参加者集合写真（2011年8月30日「かたくら 諏訪湖ホテル」玄関にて）